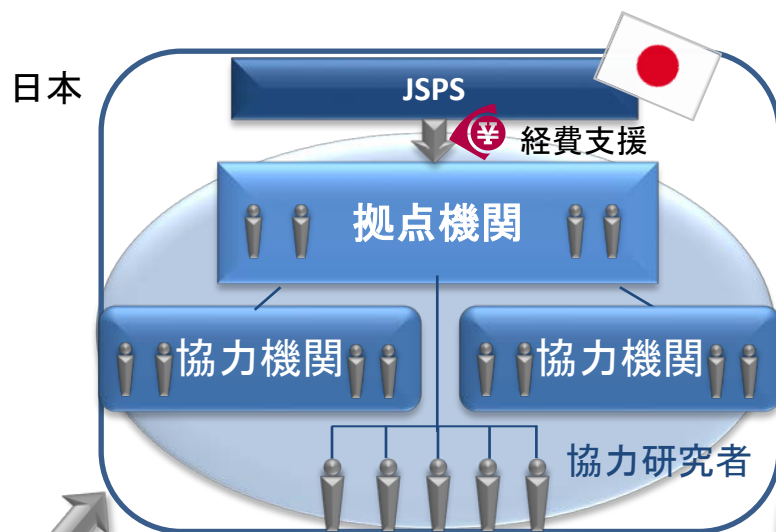


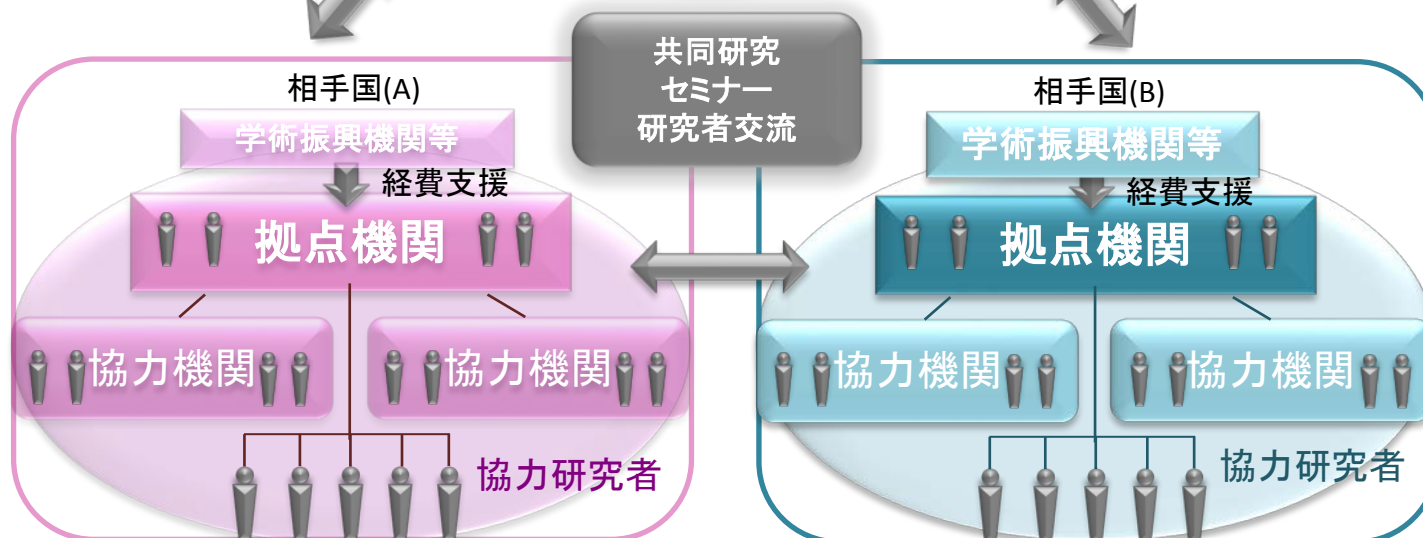


研究拠点形成事業

A. 先端拠点形成型



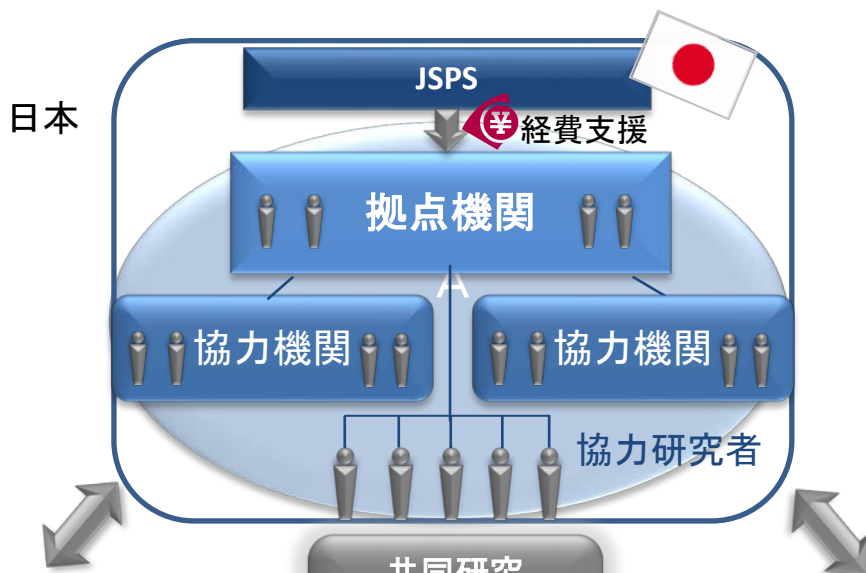
- 対象国: 我が国と国交のある2カ国以上
- 目的:
 - 我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係の確立による先端研究分野での世界的水準の研究交流拠点の構築
 - 次世代の中核を担う若手研究者の育成
- 支援金額: 1,800万円以内/件/年度
(相手国側はマッチングファンド獲得が必要)
- 支援期間: 最長5年間





研究拠点形成事業

B. アジア・アフリカ 学術基盤形成型



■対象国: 我が国と国交のあるアジア・アフリカ諸国2カ国以上

■目的:

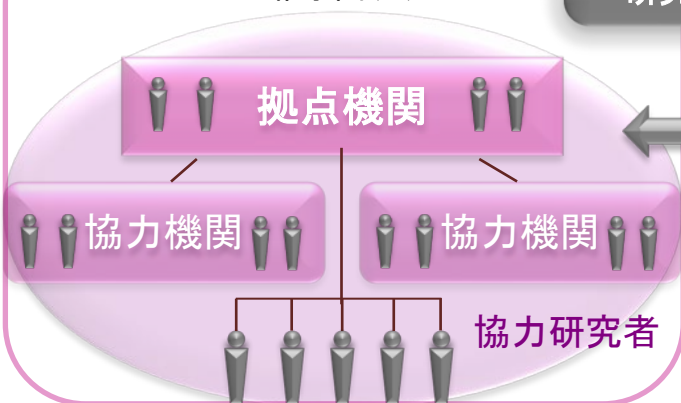
- ・アジア・アフリカ地域における諸問題解決に資する研究課題について、我が国の大学等研究教育機関が主導的役割を果たし、相手国機関との持続的な協力関係を確立することにより当該分野におけるアジア・アフリカ地域の中核的研究交流拠点を構築

- ・次世代の中核を担う若手研究者の育成

■支援金額: 800万円以内/件/年度

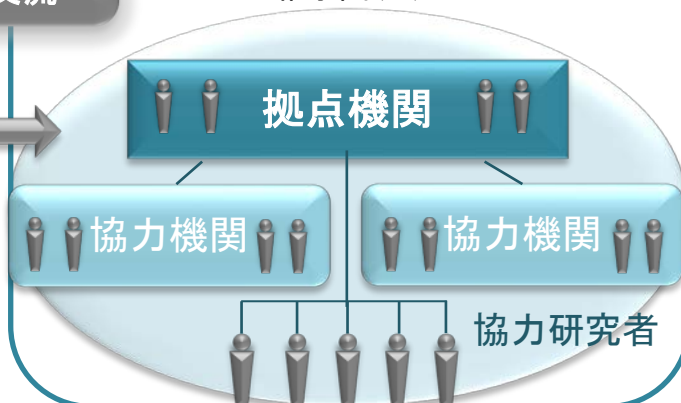
■支援期間: 最長3年間

相手国(A)



共同研究
セミナー
研究者交流

相手国(B)





拠点機関/協力機関/協力研究者の定義

定義・例

参加形態	定義
拠点機関	交流の中核となる大学等学術研究機関またはその部局であり、本事業による研究交流課題全体を統括し、実施計画の策定、資金の管理、研究交流の実施、実施報告等の責任を負います。
協力機関	原則として拠点機関と同一国に所在し、拠点機関に協力する大学等学術研究機関であって、当該大学等学術研究機関の長の承認の下に、一学部又は一学科その他の単位（研究者群を編成する場合を含む。）で学術交流の実施に協力するものをいいます。
協力研究者	拠点機関及び協力機関に属さない研究者であって、その者の属する機関の長の承認を得て拠点機関及び協力機関の行う学術交流の実施に協力するものをいいます。

共同研究/セミナー/研究者交流の活動の例

交流形態	具体例（あくまで例のため、すべての課題にあてはまるわけではありません）
共同研究	個別の共同研究テーマにおける研究実施のための交流 ○教授クラスの研究者による数日間の集中的なディスカッションや指導 ○若手研究者による数か月間の実験や受講 ○数週間のフィールドワーク など
セミナー	研究成果の発信・評価・意見交換の場としてのシンポジウム・セミナーの開催
研究者交流	上記2つに必ずしも当てはまらない交流 ○国際学会（第三国開催を含む）での研究成果の発信・意見交換 ○相手国との本課題の運営・企画に関する打合せ、共同研究・セミナーに関する意見交換 など